



まつりを楽しむ子どもたち



役員会議の様子

地域で支える 子どもの「育ち」



子どもたちと、地域の人たちや大学生などの「育成者」が、一緒にさまざまな遊びやイベントを行う「子ども会」。今回は、北区の各地域で活動している子ども会をまとめる「北区子ども会育成連合会（通称：北区子連）」を紹介します。

子ども会とは…？

子どもたちが、年齢の違う友達や地域の人たちと交流することで、成長する過程で必要な知識や体験を得られる場。それが「子ども会」です。

各地域で独自の活動を行っている子ども会。新年お楽しみ会やクリスマス会などの年中行事や、キャンプ・スキーといったアウトドアの企画もあります。北区には、地域単位で子ども会をまとめる支部が8つあります。各支部の役員は、より子どもたちが楽しめる活動を企画しようと、定期的に集まって会議を行い、支部ごとの活動報告や、今後のイベントについての話し合いをしています。

遊びが育てるもの

「二番は協調性と社会性。集団による活動の中で、子どもたちはいろいろなことを学んでいます」と話すのは紙谷羊三事務局長。子ども会でも、社会のルールや他者への思いやりを身につけていくのです。また「保護者が参加することも多いのですが、そこで地域の人たちとのつながりが生まれています」とも。親の世代と地域の人たちとの交流の場にもなっているようです。



北区子どもまつり！



9月18日に行われた「第31回北区子どもまつり」。8支部すべてが参加する、年に1度の北区子連最大のイベントです。

と、運営に参加した一人が話してくれました。子どもたちは「毎年楽しみにしています。今度は当日の仕事を手伝ってみたいです」と話します。会場にはたくさん笑顔が溢れていました。子ども会を通じた、年齢を超えた交流。大切なものを学ぶ子どもたちと、やりがいと満ちた表情をした大人たちの姿がありました。

北区子ども会育成連合会から

今回紹介したものの他にも、子ども会ではさまざまな行事を行っています。あなたもこの活動に参加してみませんか。

詳細

北区子ども会育成連合会
☎ 736-5531

まつりを支える役員と地域の人たち